しまなみ農業だより

カンキツ類の摘果

カンキツ類は、花を多く付ける年と少ない年が交互に繰り返す隔年結果性のある果樹です。隔年結果性は、品種により強弱があり、実がたくさんなると小玉果になり、翌年は花が全く咲かず不作となることがあります。カンキツを毎年、安定して収穫をするために、成りすぎた実を人為的に落とす「摘果（てきか）」という作業が必要です。今回は、カンキツ類の摘果作業の概要について解説します。

① カンキツ果実の成長に重要なこと

カンキツ類の果実は、5月に開花した後、小さな実が黄色くなって自然に落ちる「生理落果」を経て、6月中旬頃から本格的に肥大が始まります。果実の肥大は、主に葉で作られる光合成養分で養われ、葉が少ない、葉の色が優れない樹では果実を太らせる力が弱く、果実を太らせるためには健全な葉をたくさん付けることが重要です。そのため、肥料や春先の剪定（せんてい）を行い、多くの枝葉が出るように管理をします。

② カンキツの摘果の考え方

カンキツ類の摘果は、生理落果が終わる6月中旬頃から始めます。6月中旬～7月に行う「あら摘果」と8月～9月に行う「仕上げ摘果」に分けて、段階的に行うのが一般的です。カンキツ類では、品種に応じて着果させる目安として果実1個の生育に必要な葉数で示す「葉果比（ようかひ）」が決められています（表1参照）。「あら摘果」で最終の葉果比の半分程度に摘果します。例えば、最終葉果比が100枚の場合、「あら摘果」で50枚に1果程度にして「仕上げ摘果」で100枚に1果程度に仕上げます。言葉でいうのは簡単ですが、実際、葉の枚数がどれくらいある、どの枝にも均一に成っていないなど樹を前にして戸惑うことが多いと思います。例えば、30ｃｍ四方で葉が約100枚というふうに感覚的に葉数を捉えて着果数の目安を決めていきます。また、枝により着果が異なる場合は、均一に成らせる必要はなく着果のない枝があれば隣の枝にその分を余分に成らせます。

③ カンキツの摘果方法

品種により細かな摘果技術がありますが、ここでは、温州みかんと中晩柑とに分けた大まかな摘果の方法を解説します。共通項として、①着果が多いのか少ないのかを判断します。②着果が多い時には、あら摘果で樹の外周の上部（樹の高さの1／4）の果実を全部落とし、内裾は強めに摘果をします（図1参照）。温州みかんでは、春から新葉が無い極端な着果過多樹を除き、あら摘果を行わずに仕上げ摘果を主体に行うのがよいでしょう。ただし、仕上げ摘果は、必ず目標の葉果比にすることが条件です。「もったいない」は禁物です。中晩柑では、大きな果実にするため、①できるだけ早く、あら摘果で単独果実（果実同士が触れない距離）にしてください。②果実間隔を十分とり結果枝の長い大きな果実を残します。③大きな果実でも、上向きの硬い枝で下垂しない果実は日焼けや変形しやすいので摘果します。④大きな果形のよい果実を適度な間隔にならせるようにしましょう（肥大にともない枝吊（えだつり）や支柱による枝の下垂防止を行う）。9月は、仕上げ摘果の時期です。今からでも遅くないので着果の多い樹は必ず摘果を行ってください。今年は、7月下旬から酷暑のため日焼けした果実も多いと思います。10月頃までに黄色くなった日焼け果は、す上がり果となりますので必ず落としてください。わからないことがありましたら「しまなみ農業指導班（☎75-2014）」にお気軽にお問い合わせください。

表1　主要カンキツ品種の摘果基準

品種名	あら摘果の開始時期	仕上げ摘果	
		開始時期	葉果比
温州みかん	結果過多時のみ行う	9月上旬～下旬	20～25
愛媛果試第28号（紅まどんな）	6月下旬	8月中旬	100
不知火（デコポン）	6月下旬	8月中旬	120
せとか	7月上旬	8月中旬	80～100
甘平	7月上旬	9月下旬※	120
八朔	7月上旬	8月下旬	100
伊予柑	7月上旬	8月下旬	80
はれひめ	7月中旬		60

※甘平は裂果がとまってから仕上げ摘果を行う。

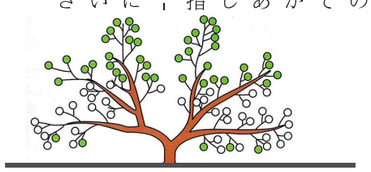

図1　あら摘果のイメージ（色付き果は除く）

令和６年度全国統一防火標語
「守りたい　未来があるから　火の用心」

『第34回 愛媛県消防操法大会』 岩城方面隊第1分団が出場！

令和6年7月28日（日）、東温市重信川かすみの森公園河川敷において、愛媛県消防操法大会が開催されました。この大会は2年に1度行われ、県内の消防団が消防ポンプ操法のタイムと節度を競う大会です。

上島町からは岩城方面隊第1分団が小型ポンプ操法の部へ出場し、16チーム中8位の成績でした。

▲岩城方面隊　第1分団の方々

▲標的をたおすタイムは3位でした

防災について考えませんか

防災講演会　入場無料

「災害に備え、私たちができること」

台風にともなう大雨、近い将来発生が懸念されている南海トラフ地震など、災害の発生は遠い地域の出来事ではありません。

町民皆さまのお力による「自助」「共助」で被害を最小限とし、迅速な回復を図る「減災」の考え方を基本に災害に備えるため、「自主防災組織の活性化」をテーマに講演会を開催いたします。町民の皆さま、ぜひご聴講ください。

日　時	令和6年9月8日（日）10時～12時
場　所	弓削地域交流センター（消防庁舎2階）
対　象	防災、福祉に関心のある方（申込不要）

令和6年7月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R6累計
火災	0	0	0	0	0	0	3
救急	16	12	13	0	0	41	244

（令和6年7月31日現在）

【上島町消防署】　☎77-4118
【上島町消防本部消防防災課】　☎77-3166

上島町の誇りとなる消防団員　絶賛募集中！

『第52回 消防救助技術四国地区指導会』

令和6年7月26日（金）、第52回消防救助技術四国地区指導会が徳島県消防学校において開催されました。上島町消防本部からは、水上の部（基本泳法）に持留消防士が出場しましたが、惜しくも入賞できませんでした。

▲順下飛び込みをする持留消防士

今回、選手として初めて救助大会に出場させていただきました。結果としては思ったようなタイムは出ませんでしたが、大会に望むまでの期間、たくさんの方々の指導、応援があり精一杯頑張ることができました。

救助大会を通じて、技術的な向上はもちろん、精神的な部分でも成長することができました。日頃の訓練や現場での活動、また、来年の救助大会に向けて日々精進してまいります。

水上の部（基本泳法）に出場した持留消防士